

茨城県大洗町・笠間市視察報告書

視察者：宮戸 光

視察日：平成 28 年 2 月 2 日（火）

視察地：

①茨城県大洗町

大洗まいわい市場、「ガールズパンツァーギャラリー」、「復興記念ギャラリー」

②茨城県笠間市

筑波海軍航空隊記念館

視察テーマ：

①「大洗町まちづくり推進課・商工観光課」による東日本大震災被災当時の状況と官民での復興の取り組み

②日本最大の戦争遺構群である、筑波海軍航空隊記念館の存続とそこから繋がる地域おこしについて

最初の訪問地、大洗まいわい市場では、今村和章大洗町議会議長からご挨拶いただき、大洗町まちづくり推進課並びに観光商工課の方々による震災当時の被害の様子や官民一体となった復興、そして、観光客減対策として実施している復興観光キャラバンに関する研修を受けました。

本市でも大地震が発生した際は、津波被害が想定されることから、3.11 当時の大洗町の被害状況や日頃の備え、また実体験から得られる今後の津波対策について大変貴重なお話でした。

また、「ガルパン（アニメ「ガールズ&パンツァー」）」で大洗を元気に！と題し、常盤良彦様・大里明様が仕掛け人となり進められている、町おこし事業に関する研修では、店主らもアニメを楽しみ、アニメファンが町のファンになった、アニメ誘致で唯一成功している町であること、商店街だけでなく、行政や商工会などの後押しがあったからこそ成功した、店主だけでなく町の皆が楽しんでやるのが大切だと、町おこし事業成功のヒントについて解説いただきました。本市でもフィルムコミッション事業を行っておりますが、更なるまちおこし・まちづくりに繋がるお話でした。





3か所目の訪問先は、存続が危ぶまれている、笠間市に残る、日本最大の戦争遺構群「筑波海軍航空隊記念館」、当時はゼロ戦パイロットを養成する施設だったそうです。久須美笠間市副市長からは施設の重要性についてのご挨拶があり、金澤大介事務局長からは「戦争はあってはならない」という子供たちへ教育の場として広く知ってもらい、活用してほしいとお話がありました。ここは、2009年に公開された映画「永遠の0」のロケで使用されたことで認知された本物の日本軍の施設です。今後は県と市の協議により存続の方向となるようですので、是非訪問してほしい施設だと感じました。

本市にも数々の歴史・文化を感じる遺産が多々あり、それらを存続させるための手段としてこの度の笠間市の取り組みは大変参考になりました。

